

北薩感染症情報

2023年第46週(11月13日～11月19日)

【問い合わせ先】 〒895-0041 薩摩川内市隈之城町228番地1

北薩地域振興局保健福祉環境部(川薩保健所)健康企画課

電話 0996-23-3165 FAX 0996-20-2127

E-メール kita-kenkou-shippei@pref.kagoshima.lg.jp

川薩・出水保健所における定点報告疾患

◎: 警報発令中 ○: 注意報発令中

定点種別	対象疾患	警報レベル			注意報レベル	川薩保健所管内					出水保健所管内				
		開始基準値	終息基準値	基準値		前週報告数(人)	今週報告数(人)	定点報告数	前週からの増減	警報注意報	前週報告数(人)	今週報告数(人)	定点報告数	前週からの増減	警報注意報
		定点報告数													
内科・小児科 定点	インフルエンザ	30.0	10.0	10.0	251	348	49.71	↗	◎	160	179	35.80	↗	◎	
	COVID-19	-	-	-	20	4	0.57	↓	-	4	-	-	↓	-	
小児科定点	RS	-	-	-	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-	
	咽頭結膜熱	3.0	1.0	-	8	15	3.75	↗	◎	14	14	4.67	→	◎	
	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	8.0	4.0	-	8	11	2.75	↗	-	4	8	2.67	↗	-	
	感染性胃腸炎	20.0	12.0	-	8	5	1.25	↓	-	-	-	-	→	-	
	水痘	2.0	1.0	1.0	2	-	-	↓	-	-	1	0.33	↗	-	
	手足口病	5.0	2.0	-	13	15	3.75	↗	-	8	5	1.67	↓	-	
	伝染性紅斑	2.0	1.0	-	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-	
	突発性発疹	-	-	-	1	1	0.25	→	-	1	-	-	↓	-	
	ヘルパンギーナ	6.0	2.0	-	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-	
	流行性耳下腺炎	6.0	2.0	3.0	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-	
眼科定点	急性出血性結膜炎	1.0	0.1	-	-	-	-	→	-	/	/	/	/	/	
	流行性角結膜炎	8.0	4.0	-	2	1	1.00	↓	-	/	/	/	/	/	
基幹定点	細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-	
	無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-	
	マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-	
	クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-	
	感染性胃腸炎 病原体がロタウイルスに限る	-	-	-	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-	
指定医療機関からの インフルエンザ入院報告	-	-	-	2	-	/	↓	-	3	-	/	↓	-		
指定医療機関からの COVID-19入院報告	-	-	-	-	-	/	→	-	-	-	/	→	-		
報告数合計	-	-	-	315	400	/	↗	/	194	207	/	↗	/		

<注意報・警報レベル>

- ・川薩保健所管内 インフルエンザ(警報レベル), 咽頭結膜熱(警報レベル), 手足口病(警報レベル)
- ・出水保健所管内 インフルエンザ(警報レベル), 咽頭結膜熱(警報レベル)

<全数報告>

- ・川薩保健所管内 なし
- ・出水保健所管内 なし

<インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等>

- ・川薩保健所管内 学年閉鎖: 薩摩川内市1件
- ・出水保健所管内 学年閉鎖: 長島町5件 学級閉鎖: 長島町1件

定点種別	疾病	警報/終息基準値	注意報基準値	川薩保健所管内推移 (定点報告数) 基幹定点(報告数掲載)									
				37W	38W	39W	40W	41W	42W	43W	44W	45W	46W
内科・小児科 定点	インフルエンザ	30.00/10.00	10.00	1.29	4.14	6.43	3.86	3.86	18.00	16.86	17.00	35.86	49.71
	COVID-19	—	—	17.57	9.86	11.43	6.86	4.29	3.14	1.14	1.86	2.86	0.57
小児科定点	RSウイルス感染症	—	—	—	—	—	0.75	—	—	0.25	—	—	—
	咽頭結膜熱	3.00/1.00	—	—	—	0.25	—	—	0.25	0.25	0.75	2.00	3.75
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.00/4.00	—	1.00	0.25	0.25	0.75	0.50	0.50	1.00	1.25	2.00	2.75
	感染性胃腸炎	20.00/12.00	—	0.50	2.50	2.00	0.25	2.50	3.25	4.75	5.25	2.00	1.25
	水痘	2.00/1.00	1.00	0.25	—	—	—	—	0.25	—	—	0.50	—
	手足口病	5.00/2.00	—	2.25	3.00	2.50	2.00	3.50	5.25	3.00	4.00	3.25	3.75
	伝染性紅斑	2.00/1.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	突発性発疹	—	—	1.25	0.50	0.50	0.25	0.25	—	0.75	—	0.25	0.25
	ヘルパンギーナ	6.00/2.00	—	1.00	—	—	0.25	—	—	—	—	—	—
流行性耳下腺炎	6.00/2.00	3.00	—	0.25	—	—	—	—	—	—	—	—	
眼科定点	急性出血性結膜炎	1.00/0.1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	流行性角結膜炎	8.00/4.00	—	3.00	—	2.00	1.00	—	1.00	—	1.00	2.00	1.00
基幹定点	細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	マイコプラズマ肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	クラミジア肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	感染性胃腸炎 <small>病原体がロタウイルスに限る</small>	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

定点種別	疾病	警報/終息基準値	注意報基準値	出水保健所管内推移 (定点報告数) 基幹定点(報告数掲載)									
				37W	38W	39W	40W	41W	42W	43W	44W	45W	46W
内科・小児科 定点	インフルエンザ	30.00/10.00	10.00	2.20	1.40	3.80	2.00	7.00	42.00	58.60	52.80	32.00	35.80
	COVID-19	—	—	16.60	7.40	12.60	6.80	3.80	1.80	0.80	1.20	0.80	—
小児科定点	RSウイルス感染症	—	—	0.33	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	咽頭結膜熱	3.00/1.00	—	1.33	0.33	0.33	2.33	1.67	2.00	3.00	3.00	4.67	4.67
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.00/4.00	—	1.00	0.67	0.67	—	2.33	0.67	1.00	3.33	1.33	2.67
	感染性胃腸炎	20.00/12.00	—	1.00	—	0.33	—	1.00	—	0.67	0.33	—	—
	水痘	2.00/1.00	1.00	—	—	0.67	—	—	—	—	—	—	0.33
	手足口病	5.00/2.00	—	0.67	1.67	1.00	0.67	3.33	2.67	3.33	1.33	2.67	1.67
	伝染性紅斑	2.00/1.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	突発性発疹	—	—	0.33	—	—	—	0.33	—	—	—	0.33	—
	ヘルパンギーナ	6.00/2.00	—	0.67	0.67	1.00	1.33	—	—	—	—	—	—
流行性耳下腺炎	6.00/2.00	3.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
基幹定点	細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	マイコプラズマ肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	クラミジア肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	感染性胃腸炎 <small>病原体がロタウイルスに限る</small>	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

★第46週に関しても両地域において感染症に気をつける必要があります。県内及び川薩では咽頭結膜熱の警報も発令されました。インフルエンザ様疾患による学年閉鎖は薩摩川内市で1件、長島町で5件、学級閉鎖は長島町で1件でした。咽頭結膜熱の原因となるウイルスにはアルコールは効きませんので、流水と石けんで手を洗い、ものの共有は避けましょう。

★新型コロナウイルスに関する参考資料
 新型コロナウイルス感染症 「診療の手引き」
<https://www.mhlw.go.jp/content/000936655.pdf>

新型コロナウイルス感染症 「病原体検査の指針」
<https://www.mhlw.go.jp/content/000914399.pdf>

新型コロナウイルス感染症 「罹患後症状のマネジメント」
<https://www.mhlw.go.jp/content/000952747.pdf>

感染経路について学びましょう



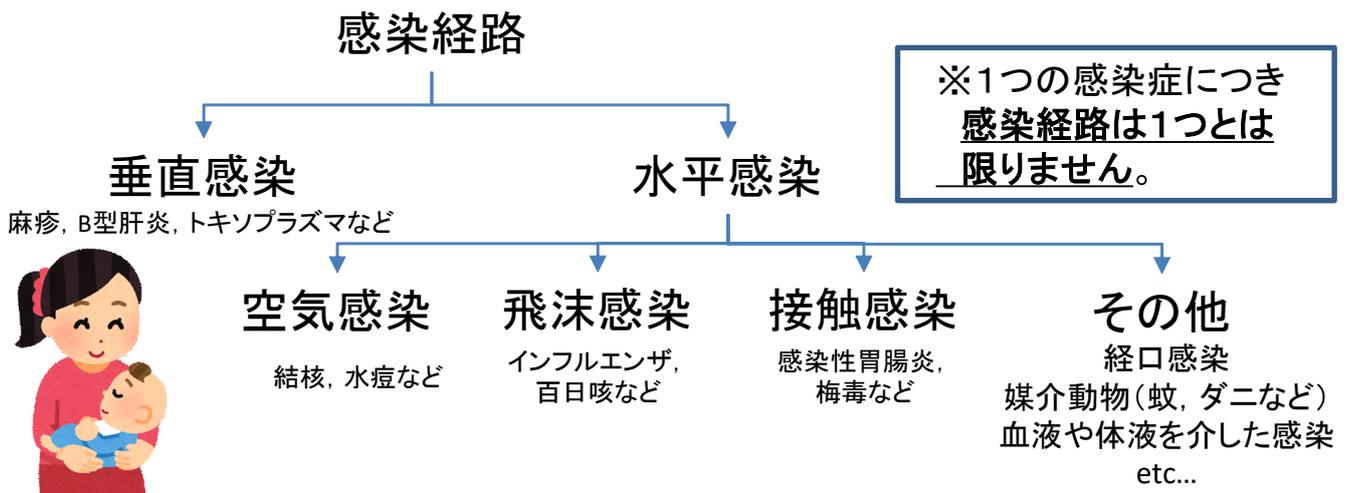
感染経路とは...？

感染症とは病原体（ウイルスや細菌などの病気の原因となるもの）が体内に侵入し、症状が出る病気をさします。病原体の侵入の仕方のことを感染経路といい、“垂直感染”と“水平感染”に分けられます。

垂直感染は母子感染ともいわれ、妊娠中や出産時に病原体が体内に侵入してしまう感染のことです。

水平感染は感染源から周囲に広がるものでヒトからヒト、モノからヒトに感染します。この感染経路はさらに“空気感染（飛沫核感染）”“飛沫感染”“接触感染”などに分けられます。

感染経路によって感染症対策の方法が異なりますので、感染経路を把握しておくことが効果的な予防につながります。



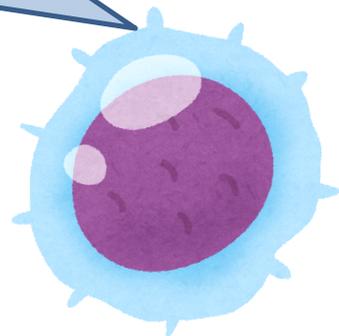
感染症対策・予防法

- 垂直感染...母：予防接種，定期健診
- 空気感染...換気，個室管理，N95マスク着用
- 飛沫感染...咳エチケット
- 接触感染...石けんでの手洗い（特にトイレ後・食事前），アルコールによる手指消毒，物の共有を避ける，共有物のこまめな消毒（スイッチ，ドアノブ等）



※感染症ごとに効果的な対処法がありますので、厚生労働省ホームページや国立感染症研究所ホームページをご覧ください。

11月10日はHTLVデーでした！



HTLVデーとは...？

鹿児島県を含む西日本において、ATL(成人T細胞性白血病)やHAM(HTLV-1関連脊髄症)患者が多い傾向にあります。これらの起因となるものはHTLV-1というウイルスです。それらの予防と早期発見のために、県では日本HTLV-1学会が制定したHTLVデーにHTLV-1の正しい知識の普及啓発を行いました。

県での取り組み

- 鹿児島県HTLV-1感染防止マニュアル作成
ATLについての正しい知識の啓発,
キャリアの方への情報提供やカウンセリングに対応
- 鹿児島県ATL制圧10カ年計画報告書の作成
取り組みや成果をまとめ、今後のATLの予防と治療に対応
- HTLV-1のリーフレット(Q&A方式)作成
母子感染防止の普及啓発を図る
- HTLV-1抗体無料検査
場所: 県内各保健所(要予約)
対象: 高校生以上(妊婦を除く)



※キャリア...ウイルスに感染しているが、症状は出ていない方のこと

HTLV-1とは...？

ヒトT細胞白血病ウイルス1型の略称です。白血球のうちのリンパ球(ヘルパーT細胞)に感染します。このウイルスは感染した細胞に自分のDNAを組み込んでしまうため、一度感染すると薬などでは排除することができず、生涯感染したままとなります。感染すると必ず発症する訳ではなく、約95%の方が無症状のままです。しかし、約5%の方はATLやHAMなどを発病します。喫煙や既往歴のある親族がいる場合、ATLを発病する確率が高いと言われています。

『Hot Lives HTLV-1情報 ポータルサイト』にも詳しく記載されておりますので、参考にしてください。

咽頭結膜熱の警報が出ています！

- ・接触感染
- ・飛沫感染

咽頭結膜熱とは...？

アデノウイルスというウイルスによって、発熱やのどの痛み、結膜炎などを発症する病です。プールでの接触やタオルの共有が原因で移ることもあるため、“プール熱”とも言われます。6月～8月の小児に多く見られる病気ですが、今期に入り、全国的に患者報告数が増えています。高熱が比較的長く続き、5日ほど続きます。特別な治療法はありませんが、ほとんどの場合は自然治癒します。

吐き気、頭痛、激しい咳が続く場合は早めに医療機関に相談しましょう。



咽頭結膜熱に感染した場合、学校や幼稚園などは出席停止になります。主要な症状がなくなってから2日間経過後、出席可能となります。



感染の仕方は...？

- ・汚染されたプールの水に入る
- ・タオルを共有する
- ・汚染された手で粘膜に触れる
- ・咳やくしゃみを吸い込む

感染対策は...？

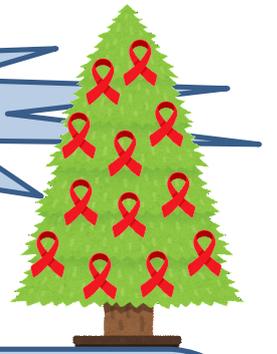
- ・プールに入った後はシャワーとうがいをする
- ・石けんで手を洗う
- ・タオルの共有をしない
- ・共有のものは消毒を行う
- ・咳エチケットを心がける



全国的に
増えています！！

◎2ページ前『感染経路について学びましょう』も是非ご参照ください。

11/16～12/15は
鹿児島レッドリボン月間です！



鹿児島レッドリボン月間とは...？

『鹿児島レッドリボン月間』とは、エイズの予防及び感染者・患者等が尊厳をもって暮らせる社会づくりを推進する期間のことです。WHO(世界保健機関)が「エイズのまん延防止及び感染者・患者に対する差別・偏見の解消を図る」ことを目的として定めた「世界エイズデー」(12月1日)を中心とした1ヶ月間を対象としています。

ニューヨークのアーティスト達が、エイズによって亡くなっていった仲間たちに対する追悼の気持ちとエイズに苦しむ人々への理解と支援の意思を示すために「レッドリボン」をシンボルにした運動(レッドリボン運動)を始めました。それをきっかけに、レッドリボンはUNAIDS(国連合同エイズ計画)のシンボルマークとなりました。

鹿児島県では、エイズに関する正しい知識の普及啓発を実施しています。

あなたが変わればエイズのイメージが変わる。UPDATE HIV!



- ☑ HIV陽性者は感染の早期把握、治療の早期開始・継続によりエイズの発症を防ぐことができる。
- ☑ 治療を継続(体内のウイルス量が減少)すれば、HIVに感染している人から他の人への感染リスクが大きく低下する。

レッドリボンはあなたがエイズに関して偏見をもっていない、エイズとともに生きる人々を差別しないというメッセージです。

鹿児島県の取組

- レッドリボンツリーの設置(県庁及び各保健所)
- 普及啓発用ポスターやパンフレット等の展示(県庁及び各保健所)
- 休日及び平日夜間のHIV検査の実施(保健所)

※要予約(保健所により実施日時が異なりますのでホームページをご覧ください。)
※平日(日中)も匿名・原則無料でHIV検査に対応しております。(夜間・休日は月間中のみ)ご検討の際はお近くの保健所までご相談ください。



あなたが変われば
エイズのイメージが変わる

UPDATE
HIV!



鹿児島レッドリボン月間

11月16日～12月15日

鹿児島 レッドリボン

検索



現在、HIV陽性者の治療法は大きく進歩しました。感染の早期把握や治療の早期開始・継続で発症を防止し、感染していない人と同等の生活が期待できるようになりました。

さらに治療の継続により他人への感染リスクも低下。また、感染していない人も、感染予防の様々な選択肢が増えていきます。

しかし、現状はそうした変化が正確な情報として十分に伝わっているとは言えず、感染を心配する人々たちを検査や治療から遠ざけ、差別や偏見を招く要因となっているとも言われています。

HIV／エイズに関する正しい知識の普及を通じて、HIV検査の受検促進や差別・偏見の解消につなげていくことが大切です。

12月1日は世界エイズデー